

運動領域について

1 体育科における教育課程実施上の課題と指導上の留意事項

(1) 学習指導要領の趣旨に基づいた授業づくり

① 運動の楽しさの追求

- ・ その運動が持っている楽しさを味わえる場面を保証する。
- ・ 運動に親しむ資質や能力を育てる。

〇〇を楽しく行い、～ができるようにする

② 指導内容の明確化

- ・ 指導する「技能」「態度」「思考・判断」を把握し、本単元や本時で何を指導するのか、そのためにはどのような活動が必要（有効）なのかを整理する。
- ・ 目指す児童の姿を明確にする。

〇〇を身に付けることにより、学習がもっと楽しくなる

③ 個に応じた指導法の明確化

- ・ 苦手な児童、前向きでない児童へのアプローチとして、負の要因を取り除く手だての充実
- ・ 学習内容の習熟の程度に応じた指導の工夫として、活動や活躍ができる場（場面）の保証

安心して学習に取り組めるようにし、指導の充実を図る

④ 言語活動の充実

- ・ 知的活動（論理や思考）を促すために、事実を理解し他者に伝えたり、自分や集団の考えを発展させたりする。
- ・ コミュニケーションや感性・情緒に関する活動を促すために、他者との交流を深め、理解し合ったり、尊重し合ったりする。

体を動かすことを通して、言語活動の充実を図る

(2) 年間指導計画、単元計画（指導と評価の計画）の作成

① 2年間のまとめりと系統性の明確化

- ・ 2学年をひとまとめりとした年間指導計画の作成
- ・ 指導内容と前後の学年とのつながりの整理
- ・ 他領域や他教科、特別活動等との関連

② 指導と評価の明確化

- ・ 評価規準と評価計画の作成
- ・ 指導したことを評価するという原則
- ・ 評価を指導の改善につなげる習慣

(3) 運動領域と保健領域との関連、他教科等との関連

- ・ 運動による心と体への効果、健康、特に心の健康が運動と密接に関連していることへの理解
- ・ 楽しく運動し、健康であることのすばらしさを実感
- ・ 体育は児童になくてはならない学校生活の大切な場面
- ・ 他教科等での学習を体育でも生かし、指導を充実

(4) 文部科学省から配布している各種資料の活用促進

- ・ H21 多様な動きをつくる運動（遊び）パンフレット
- ・ H22 学校体育実技指導資料「ゲーム及びボール運動」
「言語活動の充実に関する指導事例集」
- ・ H23 評価規準の作成、評価方法の工夫改善のための参考資料
「まるわかりハンドブック（低・中・高学年）」

P: 指導内容の明確化・重点化
↓ 児童に身に付けさせたいことは何か
D: 指導方法の工夫
↓ どのような授業を仕組み、指導するか
C: 到達度の把握
↓ 結果として身に付いたか
A: 指導の改善と児童生徒への支援
↓ どのような改善を図っていくか



【小学校体育(運動領域) まるわかりハンドブック】

小学校 体育

- ・ H24 デジタル教材（高学年）＝YouTube で公開中学校体育実技指導資料「体づくり運動」
- ・ H25 デジタル教材（中学年）＝YouTube で公開中学校体育実技指導資料「表現運動及びダンス」
- ・ H26 デジタル教材（低学年）＝YouTube で公開中学校体育実技指導資料「水泳の手引」



2 体力向上についての総合的な取組

(1) 体育学習と日常的な運動・スポーツとの連動

【水泳指導の手引(三訂版)】

- ① 体育で行った運動が、休み時間等でも行われるようにするために、日常的に行われるような手だてを充実させる。
- ② 体力向上についての取組と体育の学習がつながるようにするために、体づくり運動だけでなく、他領域でも関連性に留意する。

(2) 学校・家庭・地域の連携

- ① 学校だけで体力の向上や運動習慣の取組を進めるのではなく、家庭や地域に運動の楽しさや健康・体力問題等を発信する。
- ② 様々な機会を捉えて、体力の向上を地域の共通課題とし、学校の本気を示し、運動・スポーツを通じた地域の活性化に貢献する。

保健領域について

1 保健教育の目標

小学校、中学校、高等学校を通じて、学校における保健教育の目標は、生活環境の変化に伴う新たな健康課題を踏まえつつ、生涯にわたって自分や周りの人の健康課題を自覚し、その課題を解決するために必要な意思決定や行動選択、さらに健康な環境づくりを行うことができるように、児童生徒の発達の段階に応じた実践力等の資質や能力及び態度を育成することである。

特に、小学校教育においては、身近な生活における自分や周りの人の健康課題に気付き、その課題解決に向けて自ら取り組み、健康な家庭や学校づくりに貢献するための資質や能力及び態度の基礎を育成することが大切である。

2 「『生きる力』を育む小学校保健教育の手引き」について

- ・ 「生きる力」の育成を目指した学習指導要領の趣旨を踏まえた内容
- ・ ヘルスプロモーションの考え方を生かし、学習を通して自らの健康を適切に管理し改善していく資質や能力を育成する視点を重視
- ・ 体の発育・発達、生活習慣病など、近年の子供の健康をめぐる現代的な課題に配慮
- ・ 小学校の学級担任等が授業を行う際に参考となる資料であり、体育科保健領域を中心とし、運動領域、特別活動、総合的な学習の時間の事例を掲載



【「生きる力」を育む小学校保健教育の手引き】

3 運動領域と関連を図った指導

- ・ 毎日の生活と健康
「イ 毎日を健康に過ごすには、食事、**運動**、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けること、また、体の清潔を保つなどが必要であること。」
- ・ 育ちゆく体とわたし
「ウ 体をよりよく発育・発達させるには、調和のとれた食事、**適切な運動**、休養及び睡眠が必要であること。」
- ・ 心の健康
「ウ 不安や悩みの対処には、大人や友達に相談する、仲間と遊ぶ、**運動**をするなどいろいろな方法があること。」
- ・ 体ほぐしの運動（1,2年は保健がないため、体ほぐしの運動を通して健康への意識を高める）
「ア 体ほぐしの運動では、心と体の変化に気付いたり、体の調子を整えたり、みんなでかかわり合ったりする(5,6年:仲間と交流したりする)ための手軽な運動や律動的な運動をすること。」